

2015年度（2016年3月期）  
第3四半期 決算説明会

---

2016年2月10日

1. 概要
2. 決算説明
3. 2015年度の見通し

# 1. 概要

(億円)	第3四半期実績 (累計：4月－12月)		
	14年度	15年度	増減
売上高	2,173	2,289	+115
営業利益	113	136	+22
%	5.2%	6.0%	+0.8p
経常利益	126	141	+14
%	5.8%	6.2%	+0.4p
親会社株主に帰属 する純利益	239	126	△113

第3四半期実績 (期間：10月－12月)		
14年度	15年度	増減
794	774	△20
37	23	△14
4.8%	3.0%	△1.8p
49	28	△21
6.2%	3.6%	△2.6p
107	51	△55

\* 営業利益、経常利益は、四半期決算開示開始以来、  
第3四半期累計実績として過去最高益となった

(億円)	前回 見通し	今回 見通し	増減	14年度	増減	中期計画 3年目	増減
売上高	3,200	3,050	△150	2,934	+116	3,200	△150
営業利益	160	140	△20	116	+24	200	△60
%	5.0%	4.6%	△0.4p	4.0%	+0.6p	6.3%	△1.7p
経常利益	160	130	△30	123	+7	160	△30
%	5.0%	4.3%	△0.7p	4.2%	+0.1p	5.0%	△0.7p
親会社株主に 帰属する純利益	120	120	±0	217	△97	120	±0

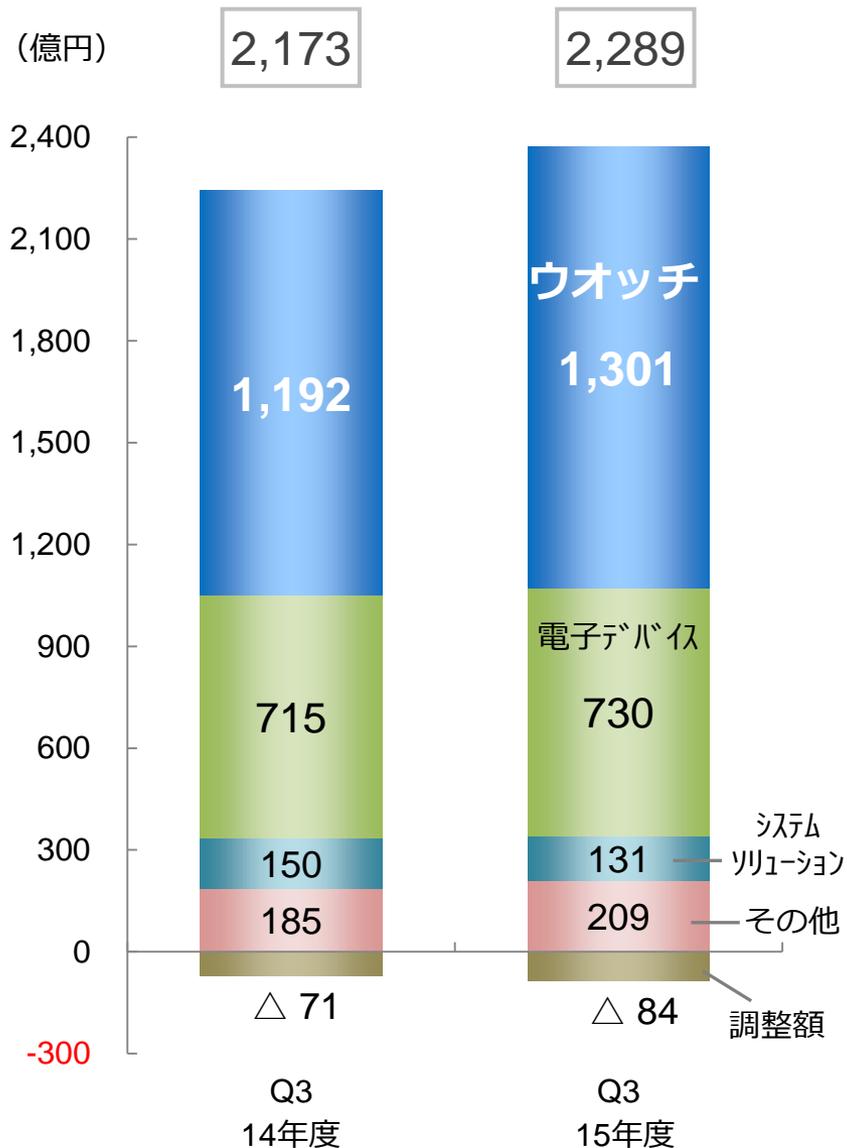
\* 売上高、営業利益、経常利益を下方修正

## 2. 決算説明

# 2015年度 損益 – 第3四半期 (累計 4月-12月) –

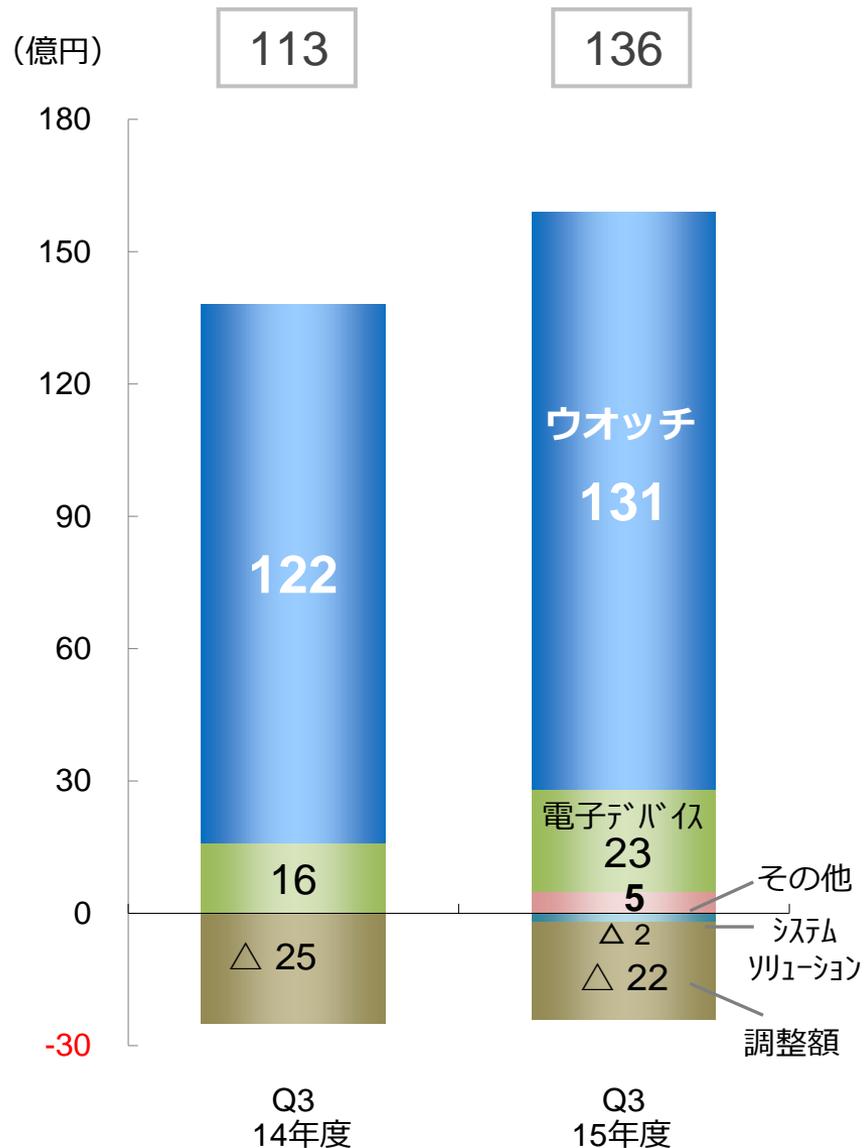
(億円)	14年度 Q3(累計)	15年度 Q3(累計)	増減			
			増減額	増減比		
売上高	2,173	2,289	+115	+5.3%	売上高： 対前年 +115 為替による影響 約+130	
売上総利益	785	840	+55	+7.1%	営業利益： 対前年 +22 売上総利益増加 +55 経費増加(販売費等) △32	
営業利益	113	136	+22	+20.3%		
%	5.2%	6.0%	+0.8p	—	経常利益： 対前年 +14 営業利益増加 +22 支払利息減少 + 8 為替差損益悪化 △18 受取配当金増加 + 2 その他営業外費用増加 △ 0	
経常利益	126	141	+14	+11.7%		
%	5.8%	6.2%	+0.4p	—		
税前利益	283	127	△156	△55.1%	特別損益内容： △13 特別利益 3 固定資産売却益 3  特別損失 △17 事業構造改善費用 △15 固定資産除却損 △1	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	239	126	△113	△47.2%		
%	11.0%	5.5%	△5.5p	—		
換算 レート	USD	106.7	121.7	+14.9	+14.0%	
	EUR	140.2	134.4	△5.8	△4.2%	

# 事業別売上高 - 第3四半期 (累計 4月-12月) -



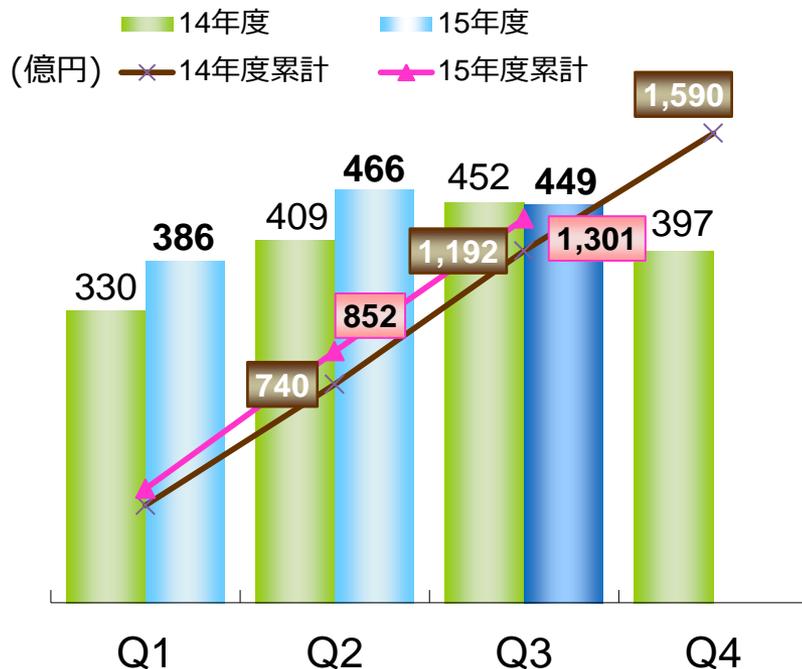
(億円)	売上高		
	14年度 Q3(累計)	15年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	1,192	1,301	+109
電子デバイス事業	715	730	+14
システムソリューション事業	150	131	△18
計	2,059	2,164	+105
その他	185	209	+23
調整額	△71	△84	△13
連結計	2,173	2,289	+115

# 事業別営業利益 – 第3四半期（累計 4月-12月） –

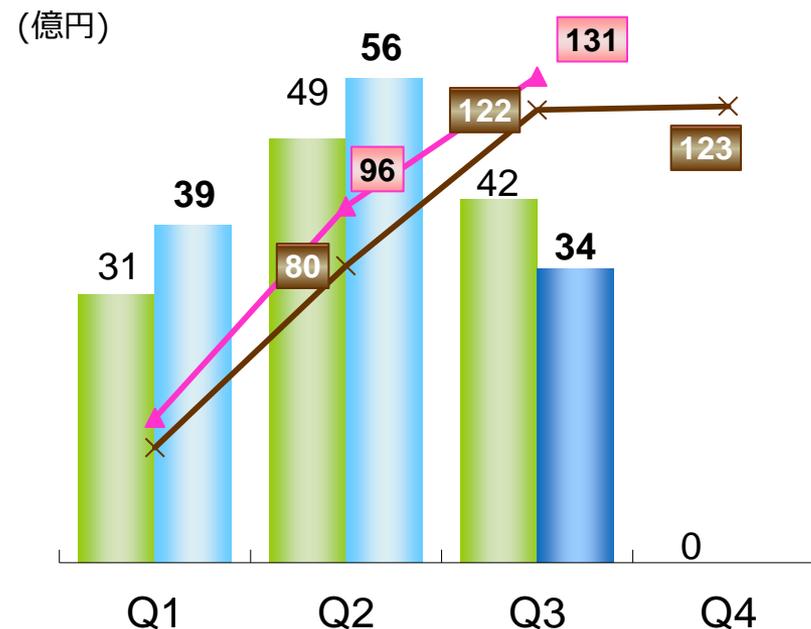


(億円)	営業利益		
	14年度 Q3(累計)	15年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	122	131	+9
電子デバイス事業	16	23	+7
システムソリューション事業	△0	△2	△1
計	138	152	+14
その他	0	5	+4
調整額	△25	△22	+3
連結計	113	136	+22

## 売上高



## 営業利益

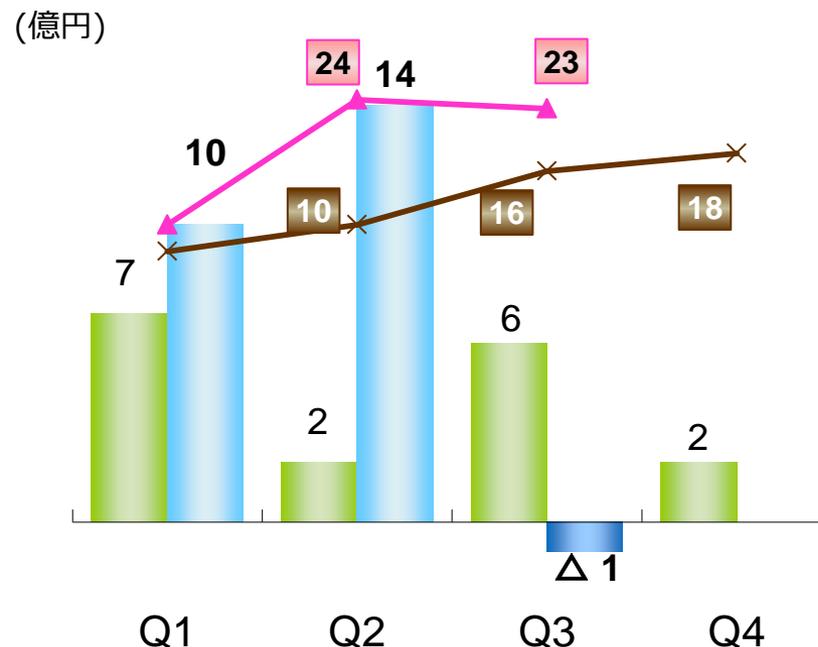


- ・ 完成品ウオッチ： メンズでは「グランドセイコー」、「アストロン」、「メカニカル」、(国内) 「プロスペックス」が、レディースでは「ルキア」、「ティセ」が牽引。
- ・ 完成品ウオッチ： 「アストロン」が好調なドイツや、アジアでは台湾などで売上を伸ばしたが、欧州ではフランスがテロの影響で伸び悩んだ。
- ・ ムーブメント： 普及価格帯の標準ムーブメントに加え、付加価値ムーブメントも下期に入りグローバル市場におけるファッション時計の不振、中国景気の低迷などにより売上が減少した。

## 売上高



## 営業利益

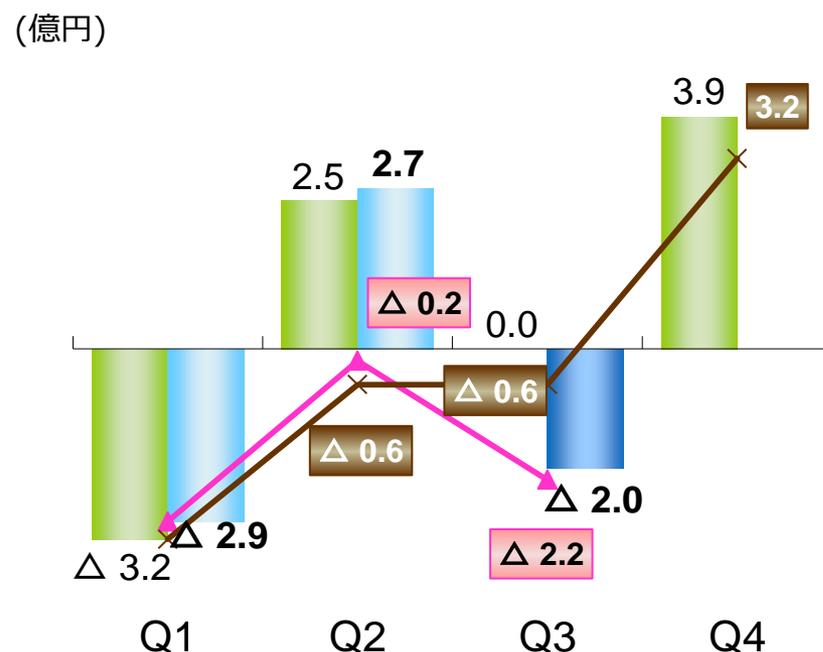


- デバイス** : 半導体は車載向けの売上は順調に伸ばしたものの、下期からスマートフォン向け売上が減少し、全体的に伸び悩んだ。また、急速な価格下落等によりオシレータ用ICの収益が悪化した。
- メカトロニクス** : シャッタ関連は客先の在庫調整等に伴い伸び悩んだが、ハードディスクコンポーネントの収益は順調に改善。
- その他** : サーマルプリンタや産業用インクジェットヘッドのプリンタ関連の売上は堅調に推移。また、10月1日付で大判プリンタを事業譲渡した。

## 売上高



## 営業利益

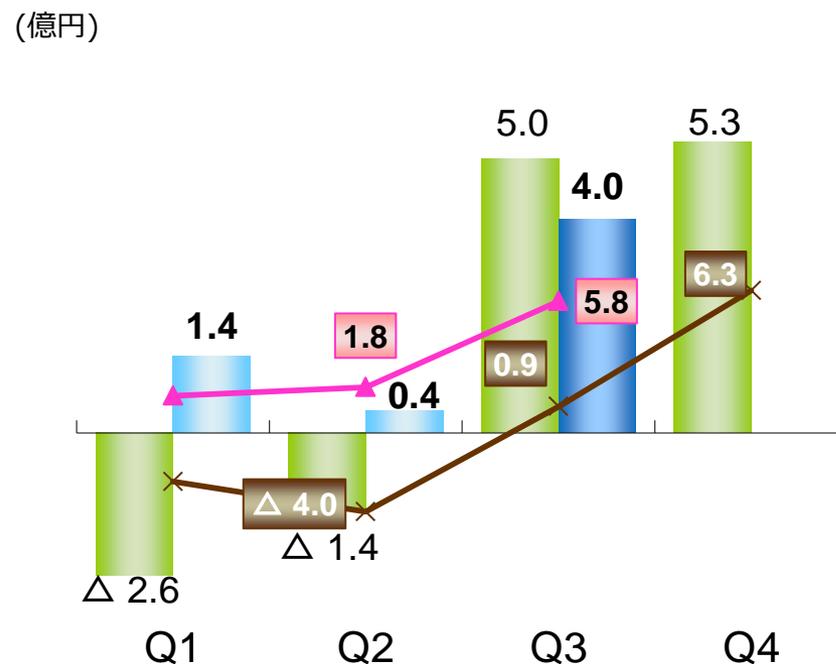


- ・上期から引続き決済端末関連製品は順調に推移したが、通信モジュールや外食産業向け製品などが伸び悩み、全体の売上高は前年同期を下回った。

売上高



営業利益



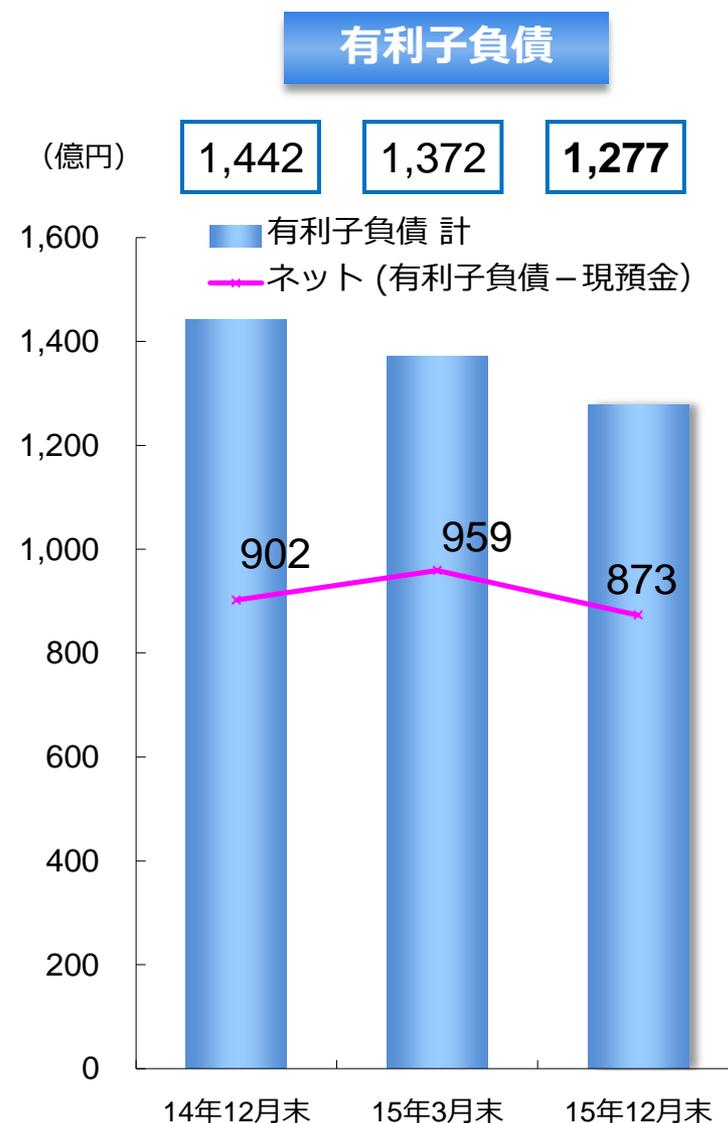
- ・ クロック : カラー液晶クロック等ヒット商品や国内商品の値上げにより順調に売上を伸ばした。
- ・ その他 : 小売事業については外国人観光客だけでなく日本人需要も堅調。「グランドセイコー」、「アストロン」を中心にウオッチ事業が好調に推移し、全体の売上を牽引した。

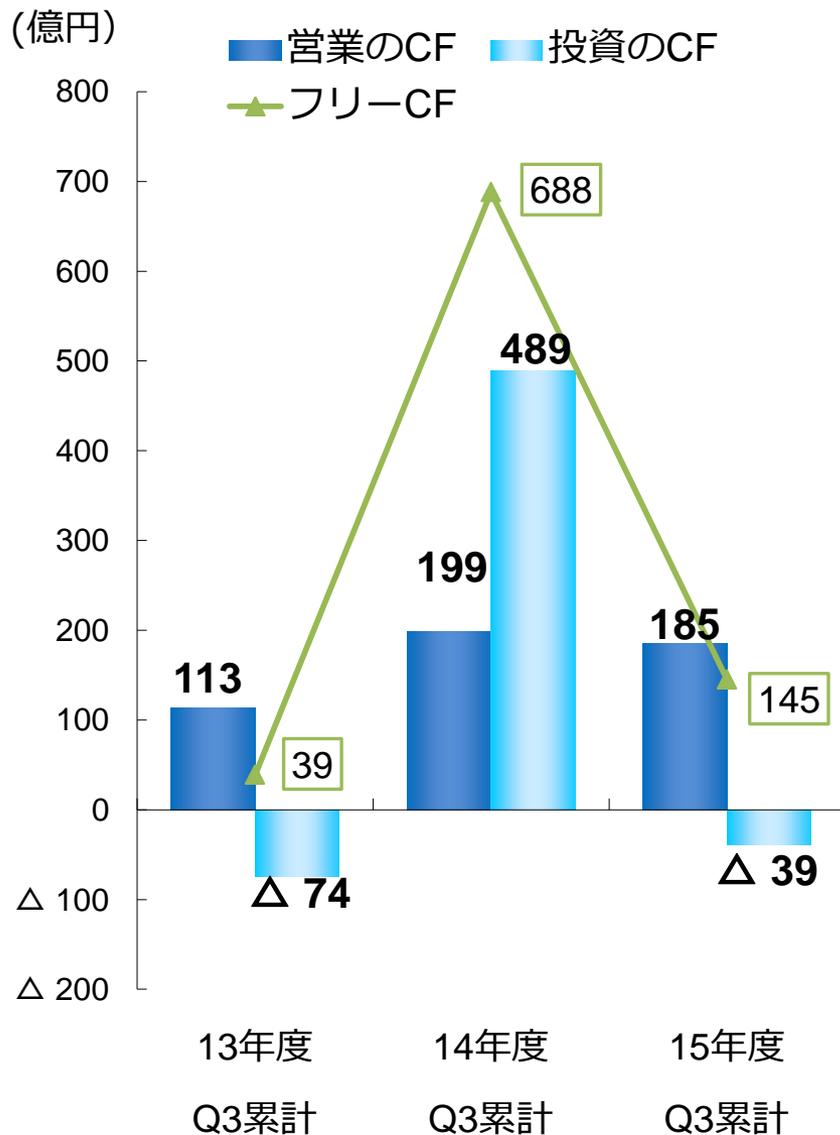
# 2015年12月末 貸借対照表

(億円)	2014年 12月末	2015年 3月末 (a)	2015年 12月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	673	629	705	+76
有利子負債	1,442	1,372	1,277	△95

純資産	968	925	989	+63
総資産	3,572	3,337	3,363	+26

自己資本比率	26.5%	27.1%	29.1%	+2.0p
ネットD/E レシオ	0.9	1.0	0.8	△0.1
従業員数	13,502	13,565	13,694	+129





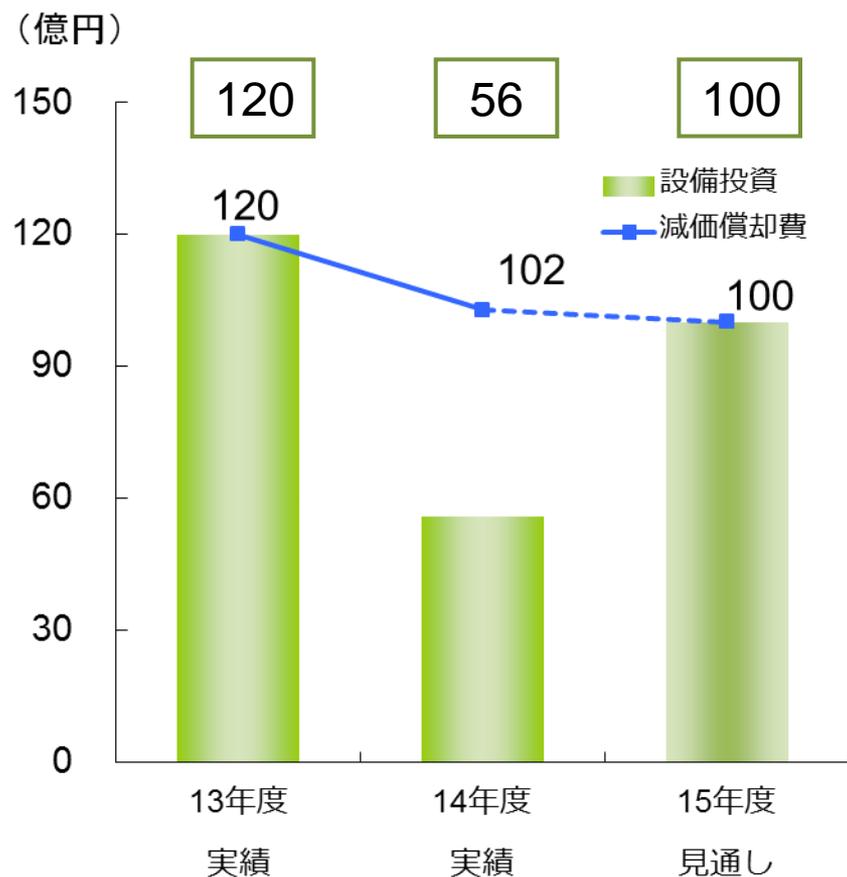
	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	15年度 Q3累計
税引前当期純利益	155	283	<b>127</b>
減価償却費	89	80	<b>75</b>
その他	△131	△164	△17
<b>営業のキャッシュフロー</b>	<b>113</b>	<b>199</b>	<b>185</b>
有形固定資産の取得	△90	△65	△97
その他	16	554	<b>57</b>
<b>投資のキャッシュフロー</b>	<b>△74</b>	<b>489</b>	<b>△39</b>
借入金の借入・返済収支	△16	△572	△90
その他	△12	△25	△51
<b>財務のキャッシュフロー</b>	<b>△29</b>	<b>△597</b>	<b>△141</b>
換算差額等	△10	21	△3
現金及び現金同等物	427	538	<b>403</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>39</b>	<b>688</b>	<b>145</b>

## 2. 2015年度の見通し

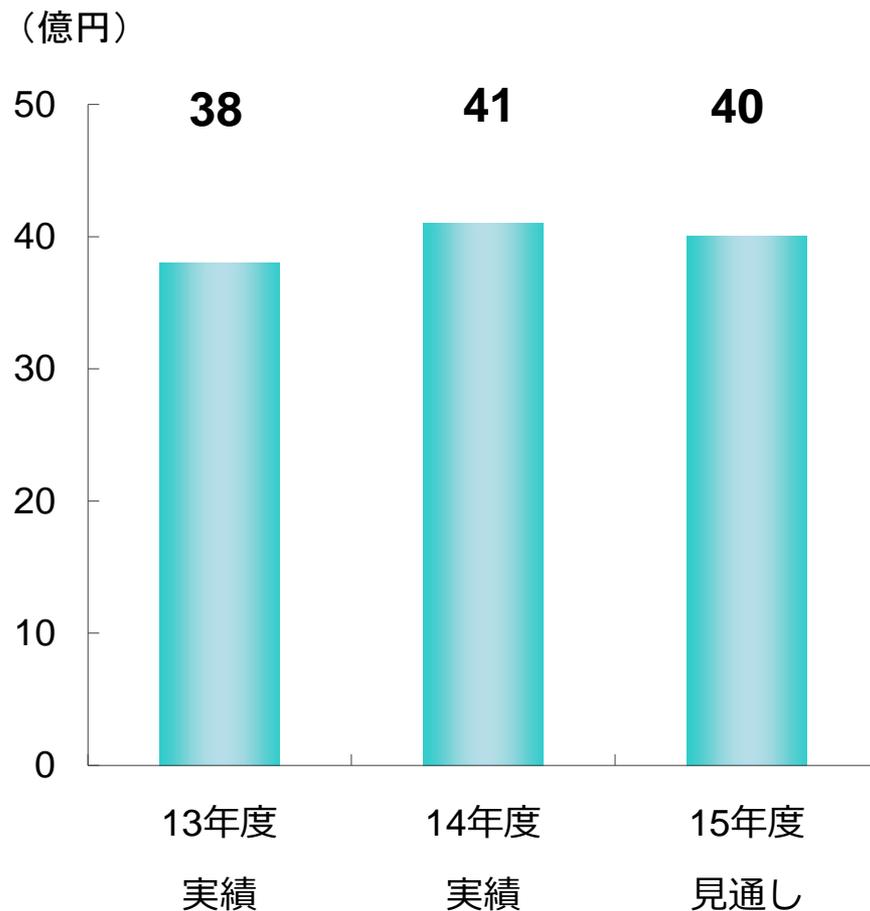
(億円)	2014年度 実績	2015年度		増減	
		前回見通し (11/10)	今回見通し (2/9)	対 前期	対 前回
売上高	2,934	3,200	3,050	+116	△150
営業利益	116	160	140	+24	△20
%	4.0%	5.0%	4.6%	+0.6p	△0.4p
経常利益	123	160	130	+7	△30
%	4.2%	5.0%	4.3%	+0.1p	△0.7p
親会社株主に帰属 する当期純利益	217	120	120	△97	±0
%	7.4%	3.8%	3.9%	△3.5p	+0.1p

(億円)	売上高				営業利益			
	2014年度 (実績)	2015年度見通し		対前回 増減	2014年度 (実績)	2015年度見通し		対前回 増減
		前回 (11/10)	今回 (2/9)			前回 (11/10)	今回 (2/9)	
ウオッチ	1,590	1,750	1,700	△50	123	135	135	±0
電子デバイス	961	1,000	960	△40	18	40	30	△10
システムソリューション	211	240	200	△40	3	10	3	△7
計	2,763	2,990	2,860	△130	145	185	168	△17
その他	264	300	290	△10	6	10	7	△3
連結計	2,934	3,200	3,050	△150	116	160	140	△20

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



\* 2013年度の設備投資にはタイ洪水被害からの復旧分を含む。  
 \* 2014年度は設備投資からオペレーティングリースに変更となった投資があったことや、2015年度に投資時期が変更になった投資があったこと等により減少。

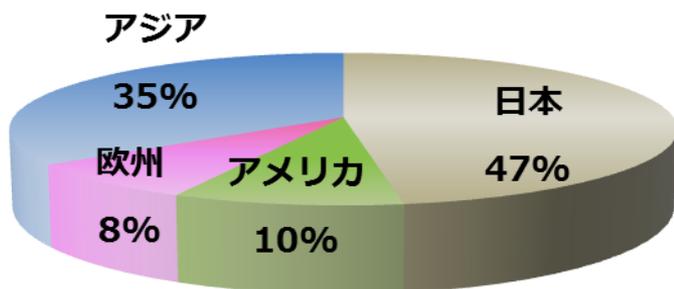
## 2015年度 見込期間為替感応度 (3か月分)

	USD	EUR
見込レート	110.0円	130.0円
売上高	約3.0億円	約0.3億円
営業利益	約0.5億円	約0.1億円

## 2015年度

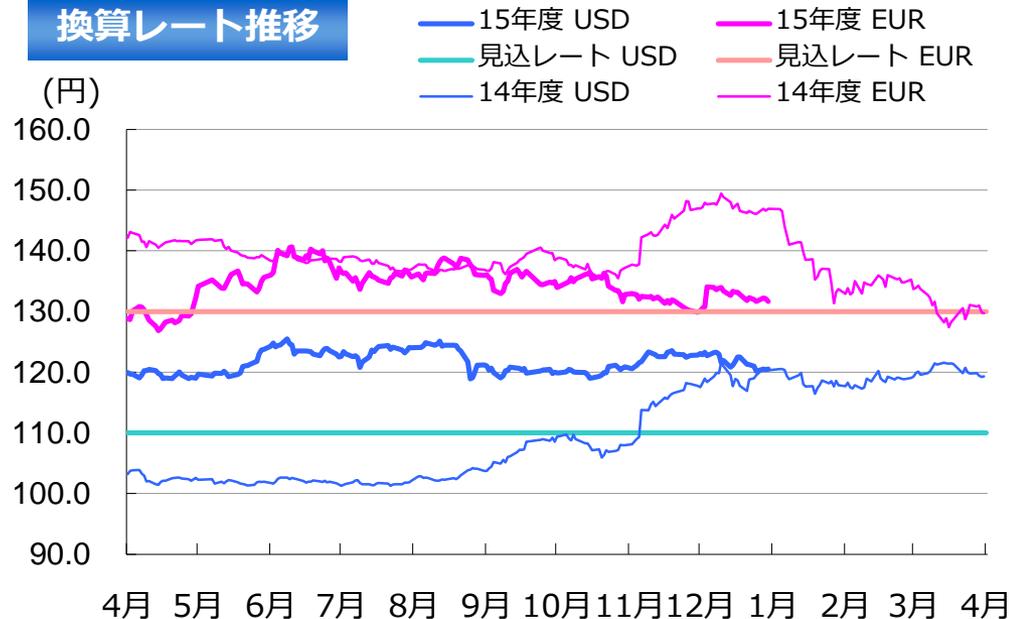
		Q1	Q2	Q3	見込レート
平均レート	USD	121.4	122.3	121.4	110.0
	EUR	134.2	136.0	133.0	130.0
決算日レート	USD	122.4	119.9	120.5	110.0
	EUR	137.2	134.9	131.6	130.0

## 地域別売上高比率



\* 2014年度実績値

## 換算レート推移



## ◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

# 参考

---

(億円)		14年度 Q3	15年度 Q3	増減	
				増減額	増減比
売上高		794	774	△20	△2.5%
売上総利益		293	280	△13	△4.4%
営業利益		37	23	△14	△39.2%
%		4.8%	3.0%	△1.8p	–
経常利益		49	28	△21	△43.0%
%		6.2%	3.6%	△2.6p	–
税前利益		127	29	△98	△76.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益		107	51	△55	△52.0%
%		13.5%	6.7%	△6.8p	–
換算 レート	USD	114.3	121.4	+7.1	+6.2%
	EUR	142.8	133.0	△9.8	△6.9%

<b>売上高：</b>	<b>対前年</b>	<b>△20</b>
為替による影響		約+15

<b>営業利益：</b>	<b>対前年</b>	<b>△14</b>
売上総利益減少		△13
経費増加(販売費等)		△1

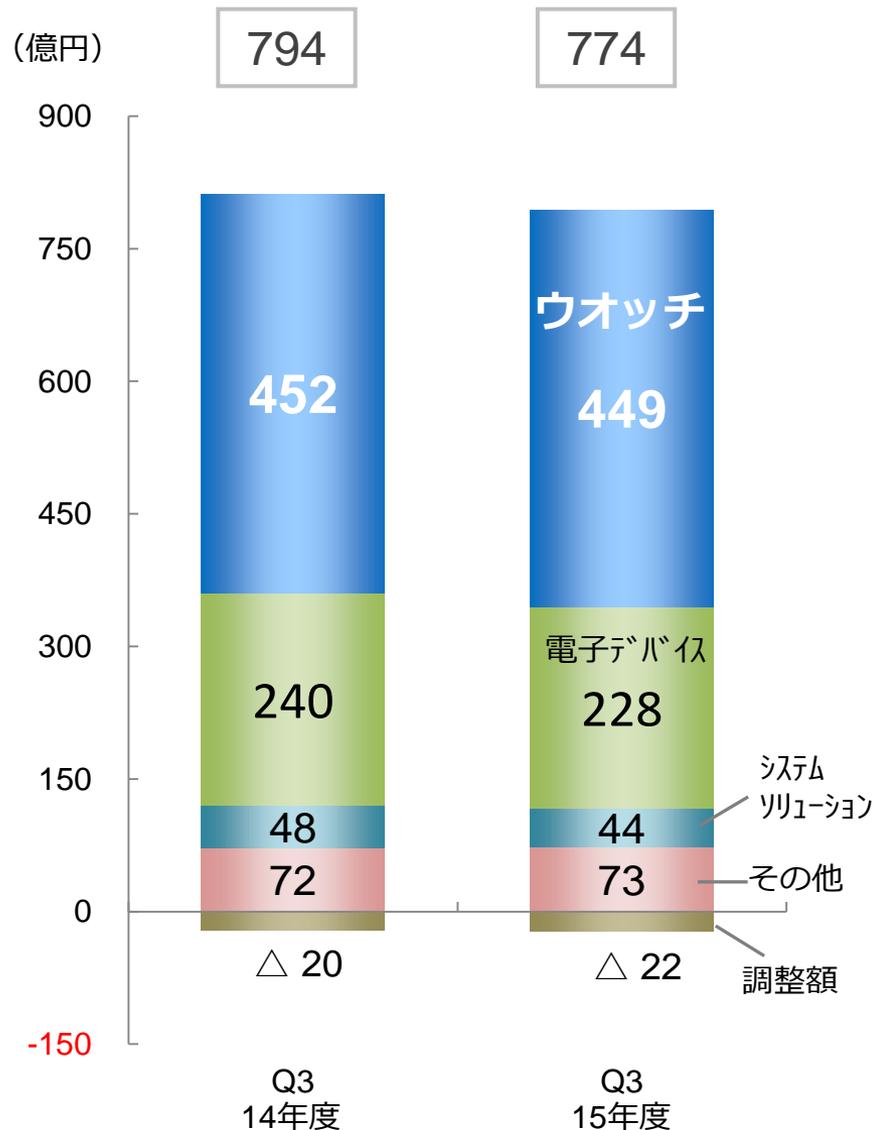
  

<b>経常利益：</b>	<b>対前年</b>	<b>△21</b>
営業利益減少		△14
支払利息減少		+1
為替差損益悪化		△10
その他営業外収益改善		+2

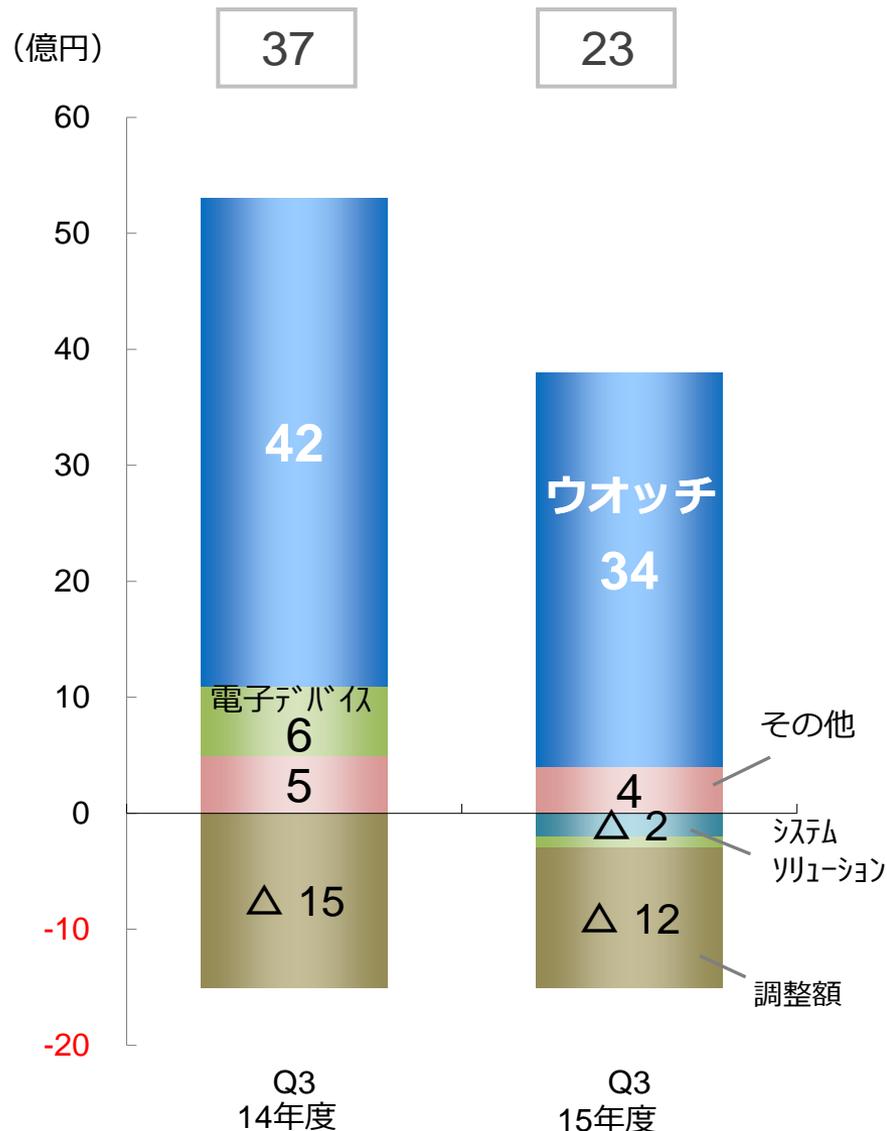
<b>特別損益内容：</b>	<b>1</b>
特別利益	3
固定資産売却益	3
特別損失	△1
事業構造改善費用	△0
固定資産除却損	△1

# 事業別売上高 - 第3四半期 (期間 10月-12月) -



(億円)	売上高		
	14年度 Q3	15年度 Q3	増減
ウオッチ事業	452	449	△3
電子デバイス事業	240	228	△12
システムソリューション事業	48	44	△3
計	742	723	△19
その他	72	73	+0
調整額	△20	△22	△1
連結計	794	774	△20

# 事業別営業利益 - 第3四半期 (期間 10月-12月) -



(億円)	営業利益		
	14年度 Q3	15年度 Q3	増減
ウオッチ事業	42	34	△ 7
電子デバイス事業	6	△ 1	△ 7
システムソリューション事業	0	△ 2	△ 2
計	48	31	△ 16
その他	5	4	△ 1
調整額	△ 15	△ 12	+ 2
連結計	37	23	△ 14

End

---